

予算に関する特別委員会で 令和4年度予算を可決

令和4年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、全議員で構成される「予算に関する特別委員会」(委員長=町田高、副委員長=森本達夫)を設置し、2月25日から3月10日まで審査を行い、いずれも可決されました。



▲予算に関する特別委員会の様子
(左から議長・委員長・副委員長)

委員会での審査経過

2月25日

◆一般会計予算

○総括質疑(9会派)

※主な質問項目は別掲

○歳出審査(議会費・総務費)

3月1日

○歳出審査(総務費)

3月2日

○歳出審査(総務費)

3月3日

○歳出審査(民生費)

3月4日

○歳出審査(民生費・衛生費)

3月8日

○歳出審査(衛生費・環境清掃費)

3月9日

○歳出審査(環境清掃費・産業経済費・土木費)

3月10日

○歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)

○歳入審査(一括審査)

○採決

・組み替え動議(共産党提出)
採決の結果 否決

・原案

採決の結果 可決

◆国民健康保険事業特別会計予算

◆後期高齢者医療特別会計予算

◆介護保険事業特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果 可決



▲予算に関する特別委員会の様子

令和4年度 予算の概要

年度区分		令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	増減額	増減率
一般会計		1,071億6,000万円	1,060億1,000万円	11億5,000万円	1.1%
特別 会計	国民健康保険 事業	230億4,400万円	223億9,000万円	6億5,400万円	2.9%
	後期高齢者 医療	52億9,200万円	49億8,100万円	3億1,100万円	6.2%
	介護保 険事業	187億4,000万円	180億400万円	7億3,600万円	4.1%

主な総括質疑

※ 二次元コードから荒川区議会HPの動画に移行します

自民党
茂木 弘 委員



- 新型コロナについて
- 将来への投資について
- 子育て支援について
- 西日暮里再開発について

公明党
菊地 秀信 委員



- まん延防止等重点措置期間中の学校におけるコロナ対策について
- 住みよい尾久地域の街づくりについて

共産党
斉藤 邦子 委員



- 新型コロナの急激な感染拡大について、この間の対応と今後の取り組みについて
- 区独自の非課税世帯等臨時給付金の支給について



立憲・ゆい・無所属の会
久家 繁 委員



- DXの推進について

次世代あらかわ
夏目 亜季 委員



- オンライン教育について
- がん対策に対する助成について

日本創新党
小坂 英二 委員



- 戦ってでも大事なものを守る覚悟を持つ平和教育を

自由民主の会
藤澤 志光 委員



- あらかわ遊園の所縁(ゆかり)について

あらかわ元気クラブ
河内 ひとみ 委員



- 生活保護について

維新・子育ての会
山田 晴美 委員



- 「ノーテレビ・ノーゲーム運動」について

令和4年 区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

西川区長から、2月14日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

まず、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞いを申し上げます。また、感染拡大防止のために、これまで長期間にわたりご協力をいただいている区民・事業者・関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

いまだ新型コロナウイルスの感染拡大が続く大変厳しい局面となっておりますが、区民生活に最も身近な行政を担う区として、これまでも増して、区民の皆様の命と健康を守るために必要な取り組みを迅速かつ的確に実行してまいります。合わせて、日々の暮らしや区内事業者の活動を支える取り組み等を着実に推進してまいります。

この度、編成いたしました令和4年度予算は、このような思いで施策を具体化したものです。区が区民の皆様の健康と暮らしを支えていくことに全力を尽くし、ともに長引くコロナ禍を乗り越え、再び輝く笑顔を取り戻していただきたいという意味を込め、「区民の健康と暮らしを支え、輝く笑顔を取り戻す予算」として編成いたしました。

区民の皆様の幸福実感に着実に結びつけられるよう全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



区長の施政方針説明の様子

令和4年度予算をこう評価する

3月15日の本会議において、令和4年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民の健康と暮らしを支え、輝く笑顔を再び取り戻すことができるよう一層努力することを要望し、賛成

自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民の不安を解消し、安心・安全に暮らすことのできる街づくりを目指し、10の重点項目をはじめとした350を超える事項について、積極的に推進していくよう要望した。

本予算案ではこれらを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする区政の重要課題に対し、重点的に予算を配分する一方、今後想定される厳しい財政状況を見据え、内部努力の更なる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図っており、改めて予算編成に当たっての区長及び区当局の努力を高く評価する。

我が党が要望した施策の主なものとして、まず喫緊の課題と言える新型コロナウイルス感染症対策があり、新型コロナワクチンの早期接種の推進をはじめ、入院施設等の確保、感染症対策を含む災害拠点病院として新病院の活用など、区民の命と健康を守るための取り組みを高く評価する。

震災対策では、宮前公園を新病院と連携した防災拠点として整備することや、区内全避難所での避難所開設・運営訓練の実施など、ハード・ソフト両面で、震災対策に前向きな姿勢が伝わる内容となっている。

子育て支援では、多胎児世帯や医療的ケア児を養育する世帯への支援拡充をはじめ、区児童相談所における子どもの命を守るための取り組み、あらかわ遊園のリニューアルなど、子育て世帯が安心して子育てを行い、子ども達も健やかに成長できる取り組みを高く評価する。

産業振興では、コロナ禍で苦境に陥っている区内事業者への支援策の充実や商店街のデジタル化の推進が盛り込まれている。

環境分野では、省エネ家電購入助成の拡充などの脱炭素に向けた取り組みや廃プラスチック削減への取り組みなど、それぞれ適切に予算に反映している。

これらの他にも、予算に関する特別委員会において、今後の財政需要を踏まえた財政運営、各種区有施設の再編・リニューアル・新設、地震水害等の災害に対する対応のさらなる進展、PCR検査・ワクチン接種をはじめとした新型コロナ対策に対する迅速的確な対応、デジタル化・SDGs活用の推進・イベントの実施による商業の振興、区内都市計画道路の早期事業化・整備促進、区立小中学校における新時代に対応した教育の推進等、各分野の施策や事務事業に関して、数多くの有意義な質疑、要望、提案をした。

また、新年度の予算執行にあたり「区民の健康と暮らしを支え、輝く笑顔を再び取り戻す予算」というキャッチフレーズ通りの予算執行がしっかりと実現できるよう尚一層努力することを、区長並びに区当局に強く要望し、予算案に賛成の討論とする。



学びを止めない、コロナ禍でのオンライン教育の充実

区民の命と健康を守る取り組みに重点を置く一方、将来必要となる支出を見据えた本予算案に賛成

公 明 党



令和4年度予算は、西川区長就任第5期目の2年目の予算である。新型コロナワクチン接種や

PCR検査、自宅療養者への手厚い支援など引き続き区民の命と健康を守る取り組みに重点的な予算配分を行う一方、高齢者、障がい者等に対する福祉施策の充実や子育て家庭への支援、防災対策の強化など区民の安全・安心の向上はもとより、地域産業の振興や荒川遊園のリニューアルに象徴される、にぎわいあふれるまちづくりなどを着実に進めることで、区民の幸福実感を一層高めていくという思いが込められたものと受け止めた。

私たち公明党区議団は、本予算の編成に先立ち、「誰一人取り残さない」という理念のもと、区民生活に関する独自の調査研究を踏まえて、来年度予算に関する要望書を西川区長に提出した。区はこの要望を受け止め、限りある財源を重点的・効果的に配分した「区民の健康と暮らしを支え、輝く笑顔を取り戻す予算」を編成した。

予算に関する特別委員会において、さまざまな要望や提案を行った。主なものは以下3点である。

1つ目として、財政運営面で、区の基金残高が区債残高を上回り続けている背景には地道な行財政改革、そして国や都の財源を最大限に活用している点がある。来年度は高3生の医療費を無償化する都の事業を最大限に活用していくべきである。

2つ目として、来月リニューアルオープンする荒川遊園の入園料の値上げについては、区民の理解を深めるための丁寧な説明とともに、でき得る限りの区民優遇策の実施を求める。

3つ目として、区立幼稚園の今後の在り方については、環境の変化に応じた適正配置が求められる中、各園における特色ある教育方針を示し、魅力ある幼児教育の充実を進めていくべきである。

今後予想される災害への備え、高齢化への備え、施設の老朽化への備えといった将来必要となる支出を見据えた本予算案に賛成の討論とする。



◀あらかわ遊園
リニューアルオープン

コロナ感染拡大から命くらしを守る対策が不十分、区民に寄り添った予算組替えを求め、反対
共産党



本予算案について、以下の理由で反対する。

第1に、コロナ禍で格差と貧困が進むなか、住民の福祉と安全のためには不十分な予算編成であること。コロナ禍にもかかわらず、国民の生活保障の削減を進める国の姿勢は許されず、区は、区民のくらしを支えるための独自施策を行うべきである。私たち区議団は、今行うべき最低限の施策である中小事業者支援、ひとり親支援、就学支援の3本の条例を提案した。実施の決断を求める。

第2に、新型コロナ対策について思い切った拡充がないこと。区独自の体制強化・拡充が必要であり、保健所職員や保健師の増員も求める。

第3に、区の公的部門の重要性を踏まえ、そのあり方の見直しが必要であること。予定されている保育園・学童クラブ・高齢者施設などの民営化や廃止は見直すべきである。

第4に、まちづくりの姿勢に問題があること。コミュニティバスの町屋路線については、利用者への影響や代替案もないままの廃止は認められず、再開計画の見直し、地域内公共交通のあり方の検討をすぐにでも始めることを求める。

第5に、中小事業者への支援が不足していること。コロナ禍で経営が逼迫する中、区内経済と地域コミュニティを守るため、区内事業者の実態を把握し、区ならではの支援を行うことを求める。

第6に、子どもたちへのケアが足りないこと。子どもを中心として学びと成長が保障される環境づくりを進めるべきである。

最後に、予算に関する特別委員会でも取り上げた、木密地域の解消など災害対策、ジェンダーの視点に立った格差是正等は喫緊の課題である。若者が希望を持てる荒川区へ、区民のいのちを守る実行性のある対策の実施を求める。コロナ禍が長引く中、国民の経済的・精神的な負担は限界である。区の独自施策で区民のくらしを支える予算にすること求め、反対の討論とする。



◀地域経済を根幹から支える
商店街

非常時だからこそ、区民に寄り添った柔軟な各施策の展開を期待し、賛成

立憲・ゆい・無所属の会

賛成

令和4年度予算の審査にあたり、コロナの影響により疲弊した地域経済、そして区民の日々の暮らしを守り、支える為の各種施策の遂行、また図らずも私たちの生活が一変した中であって今の社会環境にしっかりと対応できるような、官民あげでのデジタル化の推進に、より注力した取り組みを期待し、様々な観点から質疑をした。

我が会派の主だった意見・主張は、議会のペーパーレス化に向けた取り組みとデジタル化への促進、荒川区行政全体のDXの推進とメタバースの導入による行政サービスの向上、尾久初空襲を語り継ぐ会へのバックアップ、ドローンの活用、俳句文化の振興とPR、東京都の補助金を活用した介護人材の確保、都市計画道路事業に伴う緑道の整備と地域振興、震災時の一次避難所におけるペット居住スペースの確保、小中学校、児童生徒への防災ヘルメットの導入、固定での自閉症・情緒障害特別支援学級の設置など、どれも行政サービスの向上と地域社会及び地域経済への活性化に資する取り組みである。

新型コロナの収束が未だ見通せない中、当面、その影響が生活の至るところに及び、厳しい状況が続くことが予想される。非常時だからこそ、区民の生命と財産を守るため、区民に寄り添い、効率的かつ迅速に、そして柔軟に各施策を展開することを期待し、賛成の討論とする。



◀あらかわ俳壇の旗とあらかわ俳句マップ

命と生活を支えるためにも、低所得層への負担増や不利になる本予算案に反対

あらかわ元気クラブ

反対

コロナ禍で、各種保険料の負担増、物価上昇や光熱費値上げ等で、区民の生活が逼迫する中、命と生活を支えるため、予算の使い方は重要である。

保健所体制については、大規模災害や新たな感染症などの対策を整える必要がある。生活困窮者対策については、生活保護制度の更なる啓発が必要である。在宅サービスについては、人材確保のため補助金が必要である。町屋さくらバスの廃止については、廃止ありきではなく、代替案を検討すべきである。西日暮里駅前開発については、抜本的な計画の見直しに舵を向けるべきである。医療的ケア児の支援対策については、荒川区らしい寄り添った支援体制の整備を求める。清掃事業については、職員の高齢化に対応し、ベテランのノウハウを若者に継承する必要がある。教育関係については、スクールソーシャルワーカーの各学校ごとの常勤配備が必要である。

以上、低所得層への負担増や不利になる本予算案に反対の討論とする。



◀スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行う教育センター